

相愛大学音楽学部  
2011年度 推薦入学試験問題  
[音楽学専攻] (筆記試験 60分)

問題 1. 【解答は全訳を必要としていませんが、以下全訳を掲載します。】

19世紀に舞曲形式で書かれたピアノ音楽のなかで、彼の作品はその純粋な美しさと官能性において際立っている。彼はほとんどもっぱらピアノのために作曲した。その主要な作品は2曲の協奏曲、3曲のソナタ、ノクターン、ワルツ、ポロネーズなどである。

彼は1831年よりパリに住んでいたにもかかわらず、彼の生まれ育ったポーランドを愛することや、ロシア支配に対する反乱後の政治的不幸を嘆くことを決して止めなかった。彼のポロネーズは、ポーランド愛国主義の表明としても見なされるかもしれない。とりわけ変イ長調のポロネーズ「英雄」は、彼の祖国の気高く勇敢で英雄的な精神を輝かせている。

彼は、ピアノが美しい響きを創り出し、オーケストラの不十分な模倣でないことを理解していた。おそらくその彼の音楽の情緒的深みはベートーヴェンやブラームスのそれとは異なっている。

問題 2. ショパン

問題 3. ロマン派時代

問題 4. (1) フランス革命 (または自由主義思想)  
(2) ロマン派オペラ、芸術歌曲、交響詩、楽劇、バレエなど

問題 5. (1) 独奏楽器と管弦楽によるソナタ  
(さらに可能ならば、次のようなことも加えてください。)  
こういった独奏協奏曲に対し、バロック期には複数の楽器と弦楽アンサンブルによる合奏協奏曲があった。

(2) ソナタ形式による楽章を含んだ3つまたは4つの楽章からなる楽曲  
(さらに可能ならば、次のようなことも加えてください。)  
たいていの場合、第1楽章はソナタ形式、第2楽章は遅い楽章、第3楽章はメヌエットまたはスケルツォ、第4楽章はロンドまたはソナタ形式で作曲されている。

(3) オーストリアで生まれた3拍子の舞曲。  
(さらに可能ならば、次のようなことも加えてください。)  
18世紀の末ごろに発生し、19世紀になって市民の間でたいへん流行した。

相愛大学音楽学部  
2011年度 推薦入学試験問題  
〔音楽学専攻〕

(口頭試問)

1. (1) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、ファゴット、クラリネット、トランペット、トロンボーン、チューバ、ホルン、ティンパニーなど  
(2) (解答例) ヴァイオリン: 弦が4本張られた代表的な擦弦楽器。16世紀に原型が作られ、17世紀以降、合奏の中心を担ってきた。  
(3) (解答例) 交響曲第5番「運命」  
(4) (解答例) ベートーヴェン、古典派時代
  
2. (1) ヴェルディ、プッチーニ、モーツァルトなど  
(2) (解答例) ヴェルディ: 《椿姫》、《アイーダ》、《オテロ》、《リゴレット》など  
(3) (解答例) ロマン派時代 (または19世紀)
  
3. (1) ショパンとシューマン  
(2) ショパン: ポーランド、シューマン: ドイツ  
(3) (解答例)  
ショパン: ピアノ曲 (ポロネーズ、マズルカ、ノクターン、前奏曲など)  
シューマン: 歌曲、キャラクター・ピース (ピアノ小品)  
(4) (解答例)  
ショパン: 《子犬のワルツ》、《英雄ポロネーズ》、《雨だれ前奏曲》、《革命》など  
シューマン: 《トロイメライ》、《謝肉祭》、《詩人の恋》、《女の愛と生涯》など
  
4. 【省略】
  
5. (1) 雅楽  
(2) 笙(しょう)、箏(ひちりき)、竈笛(りゅうてき)または横笛(おうてき) など  
(3) (解答例) 越天楽(えてんらく)、還城楽(げんじょうらく) など
  
6. (1) 劇、舞踊、音楽で構成される総合芸術で、謡(声楽)と囃子(器楽)とから成り立っている。  
(2) 観阿弥、世阿弥  
(3) 室町時代初期 (14世紀後半)  
(4) (解答例) 《道成寺》、《安宅》、《船弁慶》 など  
(5) 能管、小鼓、大鼓、太鼓

相愛大学音楽学部  
2011年度 推薦入学試験問題  
[音楽学専攻]

(小論文 90分)

【省略】